



# 学校だより

2月号

葛野小学校教育目標

「未来を拓く 健やかな 葛野の子」

スローガン 「早寝 早起き 朝ごはん 元気なあいさつ 外遊び」

令和5年1月31日

横浜市立葛野小学校

校長 阿山 美香

## 未来を拓く 健やかな 葛野の子

副校長 西松 亮介

暦の上では、もう春になります。とはいえ、春とは名ばかりの凍えるような寒さが続く時期でもあります。そのような寒さの中、高学年の子どもたちが下級生に声をかけ登校する姿が毎日見られます。高学年として責任をもって下級生を支える姿。必要に応じて、よりよい登校について伝える姿。それらのことを、毎日、当たり前のように続ける姿。暑い夏でも寒い冬でも当たり前のように繰り返されるこの姿は、葛野小の誇りです。

先日、6年生の社会科見学に付き添う機会がありました。国会議事堂と東京スカイツリーの見学でした。6年生にとっては、これが小学校生活最後の社会科見学になります。ここ数年、コロナ禍によって様々な教育活動を制限せざるを得ない状況が続きました。まだまだ予断を許さない状況は続きますが、小学校生活最後の社会科見学を無事に行えたことに、喜びを感じています。

国会議事堂を見学した際に驚いたことがあります。6年生一人ひとりが事前にしっかりと学習し、目的意識をもって参加していたことです。「副校長先生、知っていますか。四つの台座のうち、一つは空いているそうですよ。」「今日見学できるのは、衆議院と参議院、どちらの議場ですか。」「昨日ニュースで、国会の様子を観ました。」社会科の学習としての見学ということ、しっかり意識できているからこそその姿だと思います。そして、国会内で警備をされている方々に会うたびに、会釈をする姿も見られました。

東京スカイツリーでは、打って変わって、関東平野が一望でき、東京タワーを下に見る景色に興奮し、その驚きを素直に表現する姿が見られました。これまで共にすごしてきた仲間とその興奮を共有する姿は、とても微笑ましく、見ているこちらまで幸せになりました。

「未来を拓く 健やかな 葛野の子」これが、葛野小学校の学校教育目標です。私は、これまで担任をしていたときも、そして今も、6年生の姿が、学校教育目標が実現された姿なのだと考えています。小学校生活6年間の終盤となり、中学生という新しい世界への第一歩を踏み出そうとしている6年生の今の姿は、まさに「未来を拓く 健やかな 葛野の子」です。

2月14日には登校班の引き継ぎがあります。次の班長へとバトンが引き継がれます。6年生にとっては、これから「小学校生活最後のクラブ活動」「小学校生活最後の委員会活動」があります。そこでも、下級生にバトンが引き継がれていきます。6年生の姿を、下級生はしっかりと見ています。桜の花が咲き、「暦の上では」などと付けなくてもよい春が来たときには、みんなそれぞれ学年が一つ上り、6年生は中学生となります。これからの世の中をつくる葛野の子。葛野の子たちが拓く未来が、また一段と楽しみになった一日でした。